

# わたしとSDGs

## 第3回 社会 前編 暮らしやすい社会

全世界の人が2030年までに達成をめざす17の目標SDGs。

今回は「社会」に関わる目標のうち、4つについて、私たちの暮らしの中でできることを考えてみましょう。組合員さんが実際に取り組んでいることやコープがお手伝いできることを紹介します。



### 1 貧困をなくそう



### 貧困をなくそう

1日200円未満で過ごさなければならぬ子どもが世界で推定3億5,600万人。6人に1人の子どもが極度の貧困状態にあります。<sup>(※1)</sup>これをなくすには？

#### 私たちがしていること・できること

- 子ども食堂のお手伝いをしたい(Nさん)
- ユニセフへ毎週100円募金をしている(Kさん)

OCR注文書の6ケタ番号記入欄に、下記の注文番号と数量(口数)をご記入いただくと募金できます。eフランスも同様に募金できます。

募金名	募金額	注文番号(6ケタ)
ユニセフ募金 (今回のみ募金)	1口100円	372650
ユニセフ定期募金 (毎週自動で募金)	1口100円	374598

### 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



### エネルギーをみんなにそしてクリーンに

世界人口のおよそ4分の1が電気がない生活をしています。<sup>(※2)</sup>エネルギーの多くは石油や石炭など限りのある資源。みんなで効率的に使うには？

#### 私たちがしていること・できること

- エアコンの温度を調節し、無駄なエネルギーを使わない(Sさん)
- 太陽光、風力など自然のエネルギーを活用して、地球をクリーンにする努力をしたい(Nさん)



コープたまげこ・コープおおぬかでは電気自動車の充電スタンドを設置しています

### 11 住み続けられるまちづくりを



### 住み続けられるまちづくりを

都市に人口が集中することにより大気汚染やごみの増加などの問題が起こっています。山間部などでは空き家、買い物困難などの問題も。災害が発生したときに被害を最小限にとどめ、いつまでも住み続けられるようなまちづくりをするには？

#### 私たちがしていること・できること

- ご近所付き合いを大切に、災害時などいざというときに助け合いできるようにしたい(Kさん)
- 近所に買い物困難な方がいれば、必要なものを買ってきてあげたり、連れて行ってあげたりする(Dさん)

コープいしかわでは買い物にお困りの地域に移動スーパー「コボ丸便」で伺っています



### 16 平和と公正をすべての人に



### 平和と公正をすべての人に

いつまでもたっても世界のあちこちでもめごとが起きています。みんなが手を携えて歩めるような世の中を実現するには？

#### 私たちがしていること・できること

- 子どもには小さいときから、人は見た目で見断せず平等に付き合うようにと話している(Kさん)
- テレビで戦争などの場面が映ったときに、子どもたちに平和の大切さを話し、家族で話し合う時間をとるようにしている(Sさん)

コープいしかわでは親子で平和を考えるきっかけとなる行事を開催しています

親子が被爆の実相を学ぶ「平和の旅ヒロシマ」(2019年)



※1 出典:公益財団法人日本ユニセフ協会「子ども6人に1人が極度の貧困で暮らす ユニセフと世界銀行による分析」<https://www.unicef.or.jp/news/2020/0223.html>  
 ※2 出典:国際連合広報局「我々の世界を革新する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」[https://www.un.org/development/dpnd/undp/undp\\_sdg\\_0707.pptx](https://www.un.org/development/dpnd/undp/undp_sdg_0707.pptx)